

IEEE Sendai Section 講演会

『データ駆動型社会における水産業』

Expectations for sustainable fisheries in data-driven society

◆日 時： 2018年12月13日（木） 16:00～17:00

◆会 場： 東北大学電気通信研究所 ナノスピコン総合研究棟4階 カンファレンスルーム

◆開催趣旨：

本講演会は、東日本大震災をきっかけに「震災復興に IEEE の扱う分野の技術がどう貢献できるか」をテーマに、防災・減災まで対象を広げつつ 2011 から継続して開催してまいりました。そして昨年からは、その一環として一歩進んだ復興への貢献を考える場として、「地域・地場産業の活性化につながる研究・実用化」に関するテーマを取り上げています。

今年も、東北地域にも関係が深い水産業にスポットをあて、ICTを活用した水産発展の可能性を主題とした話題を提供します。

◆講演内容

『データ駆動型社会における水産業』

Expectations for sustainable fisheries in data-driven society

講演者： 公立ほこだて未来大学・教授 和田 雅昭 氏

【講演概要】

平成 30 年 6 月に閣議決定された未来投資戦略 2018 では「Society 5.0」と「データ駆動型社会」がキーワードとして掲げられ、水産業改革についても 具体的施策が記載されています。そのひとつとして、公共のデータプラットフォームである「スマート水産データベース（仮称）」を平成 32 年までに整備することが明記されました。いよいよ水産業におけるビッグデータ、AI の時代が幕をあげようとしています。

持続可能な水産業を実現するためには、水産資源の持続性と漁家経営の持続性の両立が必要です。しかしながら、近年は地球温暖化による環境変化などが要因となり、不安定な生産が続いています。不安定な生産は不安定な流通を連鎖することから、特に沿岸漁業では水産資源、漁家経営ともに厳しい状況が続いています。一方、ICT の導入により、持続可能な水産業を実現した事例も報告されています。

本講演では、一次産業である水産業をテーマに、ICT の活用事例、ワークフローにとけこませるための ICT のデザイン、ICT の役割と可能性についてお話します。